

様 式 C - 7 - 1

平成 2 9 年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学	機関番号	3 2 6 0 4
研究 代表者	部局	家政学部		
	職	講師		
	氏名	林 明子		

1 . 研究種目名 研究活動スタート支援 2 . 課題番号 16H071633 . 研究課題名 貧困世帯の若者の移行と家族に関する研究4 . 研究期間 平成 2 8 年度 ~ 平成 2 9 年度 5 . 領域番号・区分 -

6 . 研究実績の概要

本年度は、生活保護世帯の若者を対象としたインタビュー調査について分析を進めた。その中で、学校から仕事へと移行するためには、家庭以外の第三者との関係が築けているかどうかひとつの分岐点となっていることが見出された。若者にとって、家族がキーパーソンであり、家庭や家族関係の状態が彼/彼女らの次の移行に影響していることは明らかであったが、第三者との関係の有無によって、彼/彼女らの家族に対する認識も変容していく過程があることが浮かび上がった。幼児期や学齢期とは異なり、アルバイトやSNSなどによって行動範囲や交友範囲が広がったときに、若者は家族以外の第三者に出会い、具体的に次の移行を決める時期を迎える。移行の様相は複雑であるものの、その全体的なプロセスを見出すことができた。この知見は若者を対象とした学習支援や就労支援を構築する際に活用可能と考えられる。また生活保護制度の中でも、とくに若者が大学や短大、専門学校等に進学する際に行う手続きとして世帯分離に着目し、その運用についても検討を行った。

加えて本年度は、福祉行政および学習支援スタッフを対象とした継続的なインタビュー調査を実施した。若者の自立に関連して、生活保護制度（世帯分離）や就労支援、学習支援の現状と課題について、生活保護世帯の若者の家庭状況や家族関係を踏まえた聞き取りを行った。支援者側が行っている工夫や抱える困難についても整理し、より効果的なアプローチについて検討した。

7 . キーワード

貧困 子どもの貧困 家族 若者の移行 生活保護世帯

8 . 現在までの進捗状況

区分	
理由	29年度が最終年度であるため、記入しない。

2 版

9. 今後の研究の推進方策

29年度が最終年度であるため、記入しない。

10. 研究発表（平成29年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著論文 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 林明子	4. 巻 20
2. 論文標題 生活保護世帯の子どもの見えにくい実状 移行の困難さの背景を考える	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 貧困研究	6. 最初と最後の頁 50-64
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 0件）

1. 発表者名 林明子
2. 発表標題 貧困世帯の若者の移行過程に関する研究 家族に着目して
3. 学会等名 日本教育社会学会第69回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 林明子
2. 発表標題 生活保護世帯の子どもの見えにくい実状
3. 学会等名 貧困研究会第10回研究大会（招待講演）
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

1 1 . 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件 / うち取得0件）

1 2 . 科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

1 3 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

-

1 4 . 備考

-